

2010.3.24 (水)

4月号

発行:秋田県生涯学習センター

## 県生涯学習センター所長コラム「一人の学びは個人にとどまらない」

県民のニーズに応え、地域の「良さ」を掘り起こしながら、『元気な秋田を創る生涯学習』を掲げてリニューアルされた「美の国カレッジ」は多くの受講者に支えられて所期の目的を果たしてきている。全国的にみると様々な事情により行政主催の「県民カレッジ」的な講座は減少傾向にあるが、県内の受講者の関心、意欲の高さに感激している。年配の方や女性の方も多く、どの会場も熱気にあふれ、真剣さが学ぶ後ろ姿から見て取れる。秋田県の子どもたちが3年連続して全国のトップレベルの学力を示してくれているが、その一因には、こうした方々の後ろ姿を各家庭で日常的に見て育ったからともいえるのではないか。



前所長 荒川恭嗣

『Boys, be ambitious (少年よ 大志を抱け)』は札幌農学校（現：北海道大学）の初代教頭であったクラーク博士の言葉として有名である。クラーク博士は1876年に赴任し、8ヶ月間農学校の学生に教えた。わずか8ヶ月の教師と学生の関係であったが、札幌から離れる時、教え子との別れの言葉を交わした後、ひらりと馬にまたがり、この言葉を一声大きく叫んで鞭を入れ馬を駆けさせ、雪道の森の彼方に消えていったとされる。しかも、この名言の後に何かを続けて話している。

最も有力な説は『Boys, be ambitious like this old man.』というのだそうだ。「自分のような老人でも大きな夢を持っているのだから、諸君も大きな夢を持ち続けなさい」ということなのか。『like this old man』クラーク博士は「少年よ大志を抱け」と言っただけではなかった。「自分のように」と自分の生きざまを学生に示すことを忘れなかった。

自分の生きざまを次代の子どもたちに伝えることは大切なことである。たとえ、言葉に表さなくとも「学ぶ姿勢」は伝わる。このようなことも「知の循環型社会」につながり、秋田を元気にしてくれると思う。学ぶことは個人にとどまるではないのだから。

荒川恭嗣は3月31日をもって県生涯学習センター所長を退任いたしました。

## 平成22年度美の国ビデオカレッジ(1期)のお知らせです!

平成22年度「美の国ビデオカレッジ」の第1期が4月8日(木)より全6回開催されます。前半は「教養ア・ラ・カルト」として昭和の軌跡シリーズを、後半は「秋田民俗芸能アーカイブス」として県内の伝統的な民俗芸能をお届けいたします。お申し込みはお早めにお願いいたします。

各講座の内容は次のとおりです。

### 「教養ア・ラ・カルト」10:00~11:00

4月 8日(木) 昭和の軌跡「天皇と皇室」  
「小学校」

4月 15日(木) 昭和の軌跡「鉄道」  
「住宅」

4月 22日(木) 昭和の軌跡「労働争議」  
「沖縄安保」

5月 13日(木) 昭和の軌跡「エネルギー革命」  
「産業と公害・環境」

5月 20日(木) 昭和の軌跡「金解除」  
「日本の技術革新」

5月 27日(木) 昭和の軌跡「日米経済摩擦」  
「余暇と娯楽」

### 「秋田民俗芸能アーカイブス」11:05~12:05

「大森親山獅子大権現(鹿角市)」  
「大湯太鼓(鹿角市)」

「花輪の町踊り(鹿角市)」  
「毛馬内盆踊り(鹿角市)」

「阿仁前田獅子踊り(北秋田市)」  
「根子番楽(北秋田市)」

「藤琴豊作踊り(藤里町)」  
「切石さら(能代市)」

「志度橋番楽(三種町)」  
「願人踊り(八郎潟町)」

「鳥海日立舞(にかほ市)」  
「冬師番楽(にかほ市)」

平成22年度美の国カレッジ学習案内は、4月1日(木)から配布予定です。

**4月**



秋田県生涯学習センター

月間行事予定表

1 木

2 金

3 土

4 日

5 月 休館日

6 火

7 水

8 木 美ビデオカレッジ1

9 金

10 土

11 日

12 月 休館日

13 火

14 水 藤蔭 洋の会「春！『桜に踊ろう』教室」

15 木 美ビデオカレッジ1

16 金

17 土

18 日

19 月 休館日

20 火

21 水

22 木 美ビデオカレッジ1

23 金

24 土

25 日

26 月 休館日

27 火

28 水 藤蔭 洋の会「春！『桜に踊ろう』教室」

29 木 昭和の日（開館）

30 金

美は、美の国カレッジ事務局主催講座

は、その他の生涯学習センター主催講座

は、生涯学習センターが、共催・後援する講座

秋田県生涯学習センター

〒010-0955 秋田市山王中島町1-1  
TEL 018-865-1171 FAX018-824-1799  
e-mail sgcen002@mail2.pref.akita.jp

